



三菱電機

FA・プライベートフェア

西日本で初開催

500人会場 最新ソフト提案

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

三菱電機は9月30・31日の2日間、兵庫県尼崎市の西日本メカトロリユージョナルセンターで、FA機器分野に特化した「FA・プライベートフェア」を開催し、約500人が来場した。最新のソフトウェアを中心に提案し、SCADA「GEMINIS」

生産回復し好調

自動車、EV開発も追い風

FA・電機商社 2024年3月期 1Q決算

FA・電機の主要商社の2024年3月期の第1四半期決算が出そろった。製造業の設備投資は底堅く、FA機器メーカーの生産回復も各社のFA関連事業は好調に推移。また自動車関連も生産台数の回復やEV開発関連が追い風となり、それらを捉えた企業は増収増益を果している。

FA・電機制御・機械	主要上場商社		2024年3月期1Q業績	
	売上高	営業利益	前年同期比	前年同期比
山善	1199億円	5.4%減	24億円	27.9%減
因幡電機産業	742億円	9.5%増	44億円	0.6%増
RYODEN	634億円	5.7%増	17億円	6.3%減
立花エレテック	558億円	9.4%増	27億円	28.9%増
萩原電気ホールディングス	505億円	27.2%増	25億円	106.6%増
サンワテクノス	422億円	8.1%増	16億円	26.2%増
日伝	313億円	2.3%減	13億円	10.0%減
カナデン	247億円	27.6%増	5億円	276.5%増
たけびし	238億円	5.5%増	10億円	33.4%増
藤井産業	181億円	15.4%増	5億円	126.1%増
明治電機工業	157億円	15.4%増	3億円	359.4%増
スズデン	142億円	9.9%減	8億円	15.1%減
トラスコ中山※2Q	1313億円	8.9%増	91億円	54.3%増
モノタロウ※2Q	1244億円	13.2%増	153億円	17.1%増
ミスミ	898億円	3.5%減	89億円	36.3%減

山善は減収減益。生産関連事業は前年同期比8.4%減の764億1600万円。国内は半導体産業の純化自動車産業の投資控えから工作機械の売上が減少し、工具は横ばい、建設機械向けの産業は設備更新による海外は北米、台湾、中国、ASEANにも厳しい状況となった。

因幡電機産業は増収減益。産業機器事業は12.8%増の100億8500万円。脱炭素・エネルギー用途向け半導体関連向けが好調で、製造業を中心に設備投資が堅調に推移した。電設資材事業も電線ケーブルが好調で、首都圏再開発や製造業の設備更新、データセンターなどの大型物件向けに防災設備や受配電設備等の納入により、16.0%増の143億0000万円となった。

RYODENは増収減益。FAシステムは18.0%増の143億7100万円。半導体製造装置向けの販売が海外需要の

立ち上がりで低調だった。国内のメカ生産量は前年同期比7.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。日立製作所は増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

萩原電気ホールディングスは増収増益。主力のFAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

サンワテクノスは増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

日伝は増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

カナデンは増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

たけびしは増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

藤井産業は増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

明治電機工業は増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

スズデンは増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

トラスコ中山は増収増益。FAシステムは19.7%増の293億4900万円と回復に推移。半導体製造装置関連や物流機械分野でも需要が伸びた。

EM・システム技研

来年、社名を変更

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

EM・システム技研(株)は、2024年1月1日、西支店を統合して「株式会社エム・システム」に変更し、大阪府大阪市中央区橋本1丁目5-10の新本社に拠点を移す。

ロボットテクノロジー ジャパン

出展募集始まる

2024年7月4日から愛知で

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

「ロボットテクノロジー ジャパン」の出展募集が始まりました。2024年7月4日から愛知で開催される「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」の出展募集が始まりました。

azbil

あすみる、アズビル。

オートメーションで未来を描く

アズビル株式会社

あすみる、アズビル。オートメーションで未来を描く。アズビル株式会社

あすみる、アズビル。オートメーションで未来を描く。アズビル株式会社

あすみる、アズビル。オートメーションで未来を描く。アズビル株式会社

あすみる、アズビル。オートメーションで未来を描く。アズビル株式会社

あすみる、アズビル。オートメーションで未来を描く。アズビル株式会社

あすみる、アズビル。オートメーションで未来を描く。アズビル株式会社

灯台

心情的には理解できないところではあるが、最近では「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。YOUTUBEをはじめSNSの普及による不特定多数へのアプローチ手段が多くなり、はじめに過激な言動で注目を集める必要があり、その結果として「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。

心情的には理解できないところではあるが、最近では「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。YOUTUBEをはじめSNSの普及による不特定多数へのアプローチ手段が多くなり、はじめに過激な言動で注目を集める必要があり、その結果として「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。

心情的には理解できないところではあるが、最近では「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。YOUTUBEをはじめSNSの普及による不特定多数へのアプローチ手段が多くなり、はじめに過激な言動で注目を集める必要があり、その結果として「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。

心情的には理解できないところではあるが、最近では「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。YOUTUBEをはじめSNSの普及による不特定多数へのアプローチ手段が多くなり、はじめに過激な言動で注目を集める必要があり、その結果として「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。

心情的には理解できないところではあるが、最近では「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。YOUTUBEをはじめSNSの普及による不特定多数へのアプローチ手段が多くなり、はじめに過激な言動で注目を集める必要があり、その結果として「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。

心情的には理解できないところではあるが、最近では「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。YOUTUBEをはじめSNSの普及による不特定多数へのアプローチ手段が多くなり、はじめに過激な言動で注目を集める必要があり、その結果として「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。

心情的には理解できないところではあるが、最近では「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。YOUTUBEをはじめSNSの普及による不特定多数へのアプローチ手段が多くなり、はじめに過激な言動で注目を集める必要があり、その結果として「無名でも稼げた時代の終焉」ブランド作り、名前売ることの重要性が叫ばれている。

縦横取付け可能! コネクタ端子台 VSFシリーズ

縦横兼用
スリム39mm幅
消えないマーキング
使用周囲温度65°C
Push-in 端子台

超小型コネクタ端子台

2 WAY FIT COMPLETE line

www.phoenixcontact.co.jp

縦横兼用コネクタ端子台

選べる! 使える! 必ずもらえる!

“PLCコネクタ端子台 & VARIOケーブル” セット

プレゼントキャンペーンスタート!

特設サイト [どうぞチェック!!](#)

Push-in簡単配線 1台で縦横取付けOK スリム39mm幅

PHOENIX CONTACT

100 years of passion for technology and innovation

35th ANNIVERSARY

弊社は2023年にドイツ本社創設100周年・日本法人設立35周年を迎えました

新製品・サービス

汎用インバータ刷新

Ethernet対応拡充

富士電機は、汎用インバータの主力機種である「FRENIC-Aceシリーズ」についてEthernet対応機種の拡充や予保全機能の搭載など機能強化ラインナップを拡充する。



FRENIC-Aceシリーズ

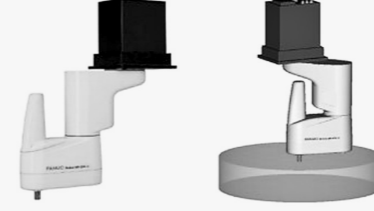
インバータは工作機械や産業用ロボット、ファン・ポンプや搬送ラインで使われ、モータの最適制御によって省エネを実現でき、脱炭素に向けて需要拡大が期待されている。

また機器の生産設備をネットワークつなぎ、データ収集や分析、自動制御を通じた生産性向上や省エネを実現するデジタル化、DXに向けてインバータにもネットワーク対応が求められている。

それに対し同製品は、従来のベシックタイプに加え、Ethernetに対応したEthernet内蔵タイプ、小型化したフィンレスタイプ、省スペースを実現したEMCフィルタ内蔵タイプを追加。

Ethernet内蔵タイプは、Ethernetへの対応によって、インバータの通信速度が向上し、生産現場で収集できるデータ量が拡大し、電流・電圧の変化を高精度に把握できるようになり、生産ライン全体

ファナック 天井設置型スカラロボット 範囲内、どこでも届く

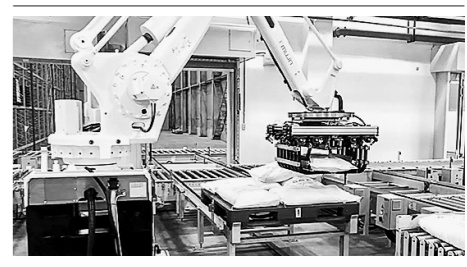


ファナックは、天井設置型スカラロボット「SR30IAU」を発売した。

同製品は、3kgまで搬載可能な天井面からアーム先端までの距離を昇降軸の最小の生産ライン間搬送や小さなスペースでの組み立て作業などに最適。アームのリーチ範囲の中でアーム先端が到達できないエリアがない「フリーテ

またインバータの基本設計に関して、構造・部品・ソフトウェアの最適化を共通化し、コスト削減を進め、より多くの工場に導入を促進している。

またインバータの基本設計に関して、構造・部品・ソフトウェアの最適化を共通化し、コスト削減を進め、より多くの工場に導入を促進している。



またインバータの基本設計に関して、構造・部品・ソフトウェアの最適化を共通化し、コスト削減を進め、より多くの工場に導入を促進している。

またインバータの基本設計に関して、構造・部品・ソフトウェアの最適化を共通化し、コスト削減を進め、より多くの工場に導入を促進している。

またインバータの基本設計に関して、構造・部品・ソフトウェアの最適化を共通化し、コスト削減を進め、より多くの工場に導入を促進している。

またインバータの基本設計に関して、構造・部品・ソフトウェアの最適化を共通化し、コスト削減を進め、より多くの工場に導入を促進している。

バルーフ 無償サンプルキャンペーン 汎用センサシェア拡大



BOSシリーズ

バルーフは、グローバル市場で培った製法力および製品供給力をもとに、日本市場の汎用センサシェア拡大を狙う。

今回、誘導型近接センサとして「BESシリーズ」、汎用光電センサとして「BOSシリーズ」、フォトマシクロセンサとして「MINI-BGLシリーズ」等のラインナップを拡充するとともに、性能も使い勝手も、ユーザーが実機で確認できる。2023年8月21日から無償サンプル提供キャンペーンを実施している。

エプソン コントローラ内蔵 DC仕様モデル追加



Y6A090S-DC

エプソンは、コントローラ内蔵の直多関節ロボット「Y6A090S-DC」を追加した。

同製品は、可搬重量6kg、アーム長さ900mmの垂直多関節ロボットで、電子・電気部品や自動車部品の組み立て作業に最適。組み立て作業の自動化に特化した「Y6A090S-DC」は、本体にコントローラを内蔵し、ソフトウェアで、スペースを柔軟に変更することが可能。また自家発電装置を用いて蓄電している工場では、DC電源をそのまま利用できる。

新製品のDC仕様モデルは、定格電圧48Vで動作し、バッテリー駆動可能なため、AGV・AMRなどの自動化に特化した現場での搭載や変種変量生産における工程変化に対応し、装置メンテナンスが容易。また自家発電装置を用いて蓄電している工場では、DC電源をそのまま利用できる。



令和の販売員心得 黒川 想介

現場それぞれの効率化がある 製造部に潜む新しい市場開拓

現場それぞれの効率化がある。製造部に潜む新しい市場開拓。生産技術の強化を唱える現場は、その重要性がますます高まっている。現場のIoT化やロボットの運用と決めつけることもない。おのの現場にはそれぞれの効率化がある。

現場のIoT化やロボットの運用と決めつけることもない。おのの現場にはそれぞれの効率化がある。

日本製造業のものづくりは、お家芸といわれてきた。現在も、ものづくりは堅調であり、世界的にも優位のレベルにある。製造業が機械を使った手作り生産からFA生産に移行し始めてから、FA系の販売店が製造業を付き合ってきた。

現場のIoT化やロボットの運用と決めつけることもない。おのの現場にはそれぞれの効率化がある。

現場のIoT化やロボットの運用と決めつけることもない。おのの現場にはそれぞれの効率化がある。

現場のIoT化やロボットの運用と決めつけることもない。おのの現場にはそれぞれの効率化がある。

現場のIoT化やロボットの運用と決めつけることもない。おのの現場にはそれぞれの効率化がある。

3Dプリンターを1人1台の時代に

Aswitch Membership Model

Aswitch 株式会社

tu na ga ru ユーエイ ツナガルシステム

Powered by EnOcean Self-powered IoT

IoT×キャスターが世界を変える

ツナガルシステム 特設サイトをチェック

キャスターの総合メーカー www.yuei-group.com

株式会社 ユーエイ

ケーブル配線システム

面ファスナー結束バンド

面ファスナー結束ホルダー

面ファスナー結束バンドは、ケーブルや電線を束ねたり固定する用途において、従来の結束バンドに代わる優れたアイテムです。

www.icotek.com

icotek smart cable management

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■アズビル、工場の計測・制御を学べるWEBサイト「LearningPlaza」開設

アズビルは、工場における計測と制御の基礎知識を学べるWEBサイト「LearningPlaza」を開設した。

同サイトは「クラウドを活用した便利な学習サイト」という位置付けで、「ゼロから学ぶ温度制御」「プロセス4大変数」など、フィールド機器の動作原理から自動制御を行う際の基礎知識のほか、同社製品の特的な機能や開発ストーリーの紹介動画、通信や防爆に関する基礎知識を学べるコンテンツなどをそろえている。また学習後、トレーニングセンターで実機に触れて対面講義を受講できる実地トレーニングの申し込みも可能となっている。



会員登録すれば誰でも利用することができる。

■安川電機、広報誌「YASKAWANEWS」最新号No.343を発行

安川電機は、同社の製品や技術、応用事例などの情報を掲載した広報誌「YASKAWANEWS」最新号No.343を発行した。

最新号では、特集として「中期経営計画『Realize25』」「人協働ロボットアプリケーションパッケージ」「安川インバータ」を取り上げ、さらに、米OishiFarmCorporationとの資本業務提携による植物工場自動化への取り組みや安川電機ガールズデー開催、陸上部の最新情報、MECHATROLINK協会2023年度総会開催報告などを掲載している。



■安川電機、技術論文「磁気飽和と磁石温度変化を考慮したIPMSMの高精度トルク制御」を公開

安川電機は、技術論文「磁気飽和と磁石温度変化を考慮したIPMSMの高精度トルク制御」を公開した。

埋込磁石型同期電動機(IPMSM)は小型高効率で電気自動車や産業機械等のさまざまなアプリケーションに広く適用されているが、IPMSMの小型化・高トルク密度化が加速することによって磁気飽和に起因するトルクの変動が増し、特に高負荷領域や高速領域において正確なトルク制御を行うことが難しくなっている。それに対し同社では、独自の磁束オブザーバと誘起電圧定数推定器を用いた高精度トルク制御技術を使うことでこれらの課題を解決できるとし、技術論文ではその技術を解説している。

■安川電機、テクニカルレポート「食品産業界のスマート工場への進化」を公開

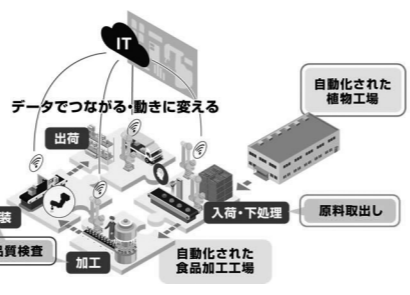
安川電機は、テクニカルレポート「食品産業界のスマート工場への進化」を公開した。

2023国際食品工業展の振り返りとして、6月に開催されたFOOMA2023での同社の展示内容についての技術解説を公開した。

展示会ではFAMSとアイキューブデジタルとともに「食を変革」をテーマに、



食品の入口である植物工場から食品製造ラインの自動化、データ連携・データ活用ソリューションの実演展示を行った。



■オムロン、協働ロボットアプリケーションモデルにシステック製パレタイジングシステムを公開

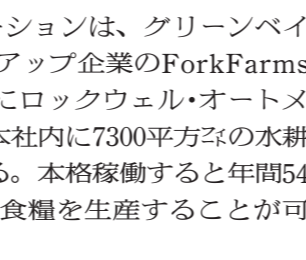
オムロンは、協働ロボットを使ったシステムのアプリケーションモデルの紹介ページに「システック製協働パレタイジングシステム」を公開した。



省スペース設計ながら広い可動範囲を確保したパレタイズロボットで、パレットサイズの1100x1100mmとほぼ同サイズの1170x1058mmで設置でき、協調ロボットを使用することにより、安全柵の設置が不要で、ロボットシステムの設置に必要な専有面積の削減が可能となっている。

■ロックウェル・オートメーション、米国本社内に水耕栽培の植物工場を建設

ロックウェル・オートメーションは、グリーンベイを拠点とする農業スタートアップ企業のForkFarms社と協力し、2024年夏までにロックウェル・オートメーションのミルウォーキー本社内に7300平方メートルの水耕栽培型の植物工場を建設する。本格稼働すると年間54万株の植物と14万9000ポットの食糧を生産することが可能。



■ロックウェル、スイス食品会社での次世代搬送システムMagneMotion導入事例を公開

ロックウェル・オートメーションは、スイスの鶏肉専門業者KNEUSSGuggeli社への次世代搬送システムMagneMotion導入事例を公開した。



KNEUSSGuggeli社は、MagneMotionで構築した2段式インテリジェント・コンベア・システムで注文のピッキング速度を60%向上し、コスト削減、スループットの向上、スペースの節約を実現した。

■シーシーエス、生成AI開発のデータグリッド社と業務提携。AI検査導入時の不良画像不足を解決

画像処理検査用LED照明メーカーのシーシーエスは、生成AI開発のデータグリッド社と業務提携し、両社の技術や知見を活用し、新たなAIソリューションを創出していく。

データグリッドは2017年創業で、生成AIの研究開発と製品開発を行い、AIの学習用データを作り出すソフトウェア「Anomaly Generator」(アノマリージェネレーター)を提供している。同社の生成AIは、少量の不良品画像をもとに高品質で多種多様な不良品画像を大量に生成でき、AIモデル構築のプロセスで多発している不良品画像のデータ不足を解決でき、AI検査導入のための工数やコスト低減が可能になる。

■北陽電機、機械の安全化とリスクアセスメント手順についてコラム掲載

北陽電機は同社WEBサイトに「機械の安全化とリ

スクアセスメント手順について」コラムを公開した。機械の安全に不可欠なリスクアセスメントとリスク低減策(3ステップメソッド)について解説し、「機械の安全化とは」から「リスクアセスメントの進め方」にはじまり、「リスク低減策(3ステップメソッド)」まで解説している。

■ユニバーサルロボット、協働ロボットトレーニング講座URアカデミーの受講者数が20万人突破

ユニバーサルロボットは、同社が提供している協働ロボットのトレーニング講座「URアカデミー」について、世界119カ所のトレーニングセンターでの受講者数が20万人を突破した。

URアカデミーは、リアル・オンラインで入門レベルから高度なロボット操作まで学ぶことができ、2023年9月にはロボット周辺機器との通信方法を学ぶインダストリアルコミュニケーショントレーニングが追加され、さらに2024年にかけて最新製品「UR20」のセットアップとプログラミングのeラーニングや、リスクアセスメントのeラーニング、パレタイジング学習パス、新しいシミュレータベースのバーチャルトレーニングの追加が予定されるなど内容も更新されている。

日本でのトレーニングセンターは東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫の地域で全9カ所あり、現地で学ぶことができる。

■IDEC、「バーチャル物流展」に電動アシストホイールによる重量物搬送の負荷軽減を掲載

IDECは、国際物流総合展2023第3回INNOVATIONEXPOのオンライン展示会「バーチャル物流展」に出展し、電動アシストホイールによる重量物搬送の負荷を軽減するソリューションを紹介している。

■IDEC、9月13日～東京ビッグサイト「国際物流総合展INNOVATIONEXPO」に出展

IDECは、9月13日から15日にかけて東京ビッグサイトで開催される「国際物流総合展INNOVATIONEXPO」に出展する(ブース:西2ホール小間番号2Q-05)。

ブースでは、人と協働出来る安全なカスタムAMRの決定版、セーフティ・ホイールドライブ・システムを中心に、SafetyWheelDrive(安全自律走行ホイール)による自動搬送の労働力不足を解消、電動アシストホイールによる重量物搬送の負荷を軽減、RFIDとウェアラブル型バーコードリーダーを活用したスマート生産管理システムなどを紹介する。

また9月13日15時から出展者プレゼンテーションセミナー「安心安全なAGV/AMRを簡単に構築できるオールインワンホイールソリューション」を実施する。

■IDEC、9月13日～東京ビッグサイト「フードファクトリー2023」出展

IDECは、9月13日から15日にかけて東京ビッグサイトで開催される「フードファクトリー2023」に出展する(ブース:東5ホール小間番号M-35)。

ブースでは、食品機械の防水・衛生対策・重量物搬送の課題解決に貢献するソリューションを中心に提案し、APEM防水スイッチ、電動アシストホイール、スマートRFIDリーダ、タッチレススイッチ、ミリ波レーザセンサ等を紹介する。

■北陽電機、9月13日～東京ビッグサイト「国際物流総合展INNOVATIONEXPO」に出展

北陽電機は、9月13日から15日にかけて東京ビッグサイトで開催される「国際物流総合展INNOVATIONEXPO」に出展する(ブース:1A-08)。

同社の測域センサはセンサの周囲の距離をレーザーで測り、人やモノの動きなどの環境認識を行うことができ、ブースでは新製品のセーフティコントローラーとセーフティレーザーキャナの組み合わせで使用したAGVの安全システムの構築をはじめ、米国Lumotive社との共同開発によるメカレス3D測域センサなどレーザー距離計や光データ伝送装置などを出展する。

セミナー・イベント情報

■ユニバーサルロボット、9月11日～「URオンライン展示会2023秋」開催 37社が参加

ユニバーサルロボットは、9月11日から15日にかけてWEB展示会「URオンライン展示会2023秋」を開催する。



協働ロボットに特化したオンライン展示会で、周辺機器メーカーやSierによる展示ブースのほか、用途別事例動画、ウェビナーなどコンテンツを提供。初出展の3社を含む全37のパートナー企業(周辺機器開発メーカー、UR認定Sier)による最新ソリューションや事例の展示を見ることが出来る。

ウェビナーも多数実施し、同社主催のものとして、入門的な内容の「ここがポイント!協働ロボット早わかり」をはじめ、「用途別URロボット導入事例」「自動車業界におけるURロボット導入事例」「UR20から見るURロボット選定のポイント」「組立工程におけるURロボット活用のポイント」「UR技術が語るUR機能の上手な使い方」を行い、パートナー企業のウェビナーも実施する。

移転・オープン

■オブテックス・エフエー、広島サテライトオフィスと博多テストステーション開設

オブテックス・エフエーは、LED照明事業のサービス向上に向け、JR広島駅近くに広島サテライトオフィスを、JR博多駅近くに博多テストステーションを新設した。

広島サテライトオフィスは、営業担当が不定期にて在駐するオフィスで、テストステーションを併設している。住所は、〒732-0824 広島県広島市南区の場町2丁目1-12プレサンスロジエ広島駅前 ザ・タワー202号室、電話番号はTEL075-555-3036(連絡先はLED営業部京都営業所)。

博多テストステーションは、各種照明・カメラ・レンズなどをそろえ、LED照明のテスト、デモ、商談などを行うことができる。住所は〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-14-3 第2サンライズ東口ビル703号室、電話番号は075-555-3036(連絡先はLED営業部京都営業所)。

■福西電機、広島営業所を開設

福西電機は、広島市に広島営業所を開設した。住所は〒730-0016 広島市中区鞆町13-11 明治安田生命広島鞆町ビル9F。

停電に強い電源づくり。

災害時での
電源停止を未然に防ぐ。
100年企業のノウハウを
この製品に盛り込んでいます。
2つの電源を安全に切り替える機能が
1台にすべてパッケージされています。



切替器専門メーカー
高田製作所
Since1919

太陽光や発電機を停電時でも安心して活用できます

電源自動切替器 ACMS-A

電源容量が選べます。100A 150A 200A 300A 400A

2系統の電源を停電時に自動で切り替える製品です。

内蔵切替器は大手蓄電池メーカーの
非常用切替に長年採用されています。

詳しくは <https://www.takadass.co.jp/>



すべての仕様書が
<仕様・外形図・回路図>
ホームページから
ダウンロードできます。

簡単・高速・ 広帯域 LTE&5G対応 メッシュWi-Fi 産業用ルーター

ローカル5G
産業自動化
IIoT



atop Technologies

by BlackBear TechHive

BlackBear TechHive Japan株式会社

〒東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3F
☎ 03-4530-3390 © www.atoponline.com/ja



儲かるメーカー改善の急所 101項

日本カイゼンプロジェクト 会長 柿内幸夫

世の中が凄くバネバネと変化しています。その中で、カイゼンコンサルタントで愛が「一番」になるのが、モノづくり

をやる私たちの役割の進化です。これまでの「モノづくり」の時代は、モノが売れるという前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

急所92 技術者による商品開発

少なくとも10倍や10分の1など、桁違いを追求して新製品を造れ。

ところが現在市場に行き交うモノは、品質、価格、マーケティングの次に、モノが売れるという前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

【略歴】柿内幸夫 1951年東京生まれ。(株)柿内幸夫技術士事務所 所長としてモノづくりの改善を通じて、世界中で実践している。本誌の編集者として、世界主要産業先進技術者、技術士、改善の急所(101項)、「モノづくり」をテーマに、改善の急所(101項)を実現する42の「101」など。

【略歴】柿内幸夫 1951年東京生まれ。(株)柿内幸夫技術士事務所 所長としてモノづくりの改善を通じて、世界中で実践している。本誌の編集者として、世界主要産業先進技術者、技術士、改善の急所(101項)、「モノづくり」をテーマに、改善の急所(101項)を実現する42の「101」など。

【略歴】柿内幸夫 1951年東京生まれ。(株)柿内幸夫技術士事務所 所長としてモノづくりの改善を通じて、世界中で実践している。本誌の編集者として、世界主要産業先進技術者、技術士、改善の急所(101項)、「モノづくり」をテーマに、改善の急所(101項)を実現する42の「101」など。

【略歴】柿内幸夫 1951年東京生まれ。(株)柿内幸夫技術士事務所 所長としてモノづくりの改善を通じて、世界中で実践している。本誌の編集者として、世界主要産業先進技術者、技術士、改善の急所(101項)、「モノづくり」をテーマに、改善の急所(101項)を実現する42の「101」など。

【略歴】柿内幸夫 1951年東京生まれ。(株)柿内幸夫技術士事務所 所長としてモノづくりの改善を通じて、世界中で実践している。本誌の編集者として、世界主要産業先進技術者、技術士、改善の急所(101項)、「モノづくり」をテーマに、改善の急所(101項)を実現する42の「101」など。

【略歴】柿内幸夫 1951年東京生まれ。(株)柿内幸夫技術士事務所 所長としてモノづくりの改善を通じて、世界中で実践している。本誌の編集者として、世界主要産業先進技術者、技術士、改善の急所(101項)、「モノづくり」をテーマに、改善の急所(101項)を実現する42の「101」など。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

と云う前提で、いかに良いモノを安く作るか、C・Dを追求する。経営成果をあげる。で済みました。

寄稿

AutoStore「ジャスト・イン・ケース物流」の5つの戦略

著者 Clement Yew AutoStore東南アジアビジネス開発担当ディレクター



混乱に備え回復力と持続可能性を

トヨタは、より無駄のない効率的な在庫管理の方法として「ジャスト・イン・タイム」製造を普及させました。しかし、ここ数年、多くの産業がこの考えを捨て、「ジャスト・イン・ケース」モデルに移行しています。ここでは、その転換を図るための5つの戦略をご紹介します。

Covid-19のピーク時には、建物の閉鎖、一般人の立ち入り制限、労働力不足、そしてスエズ運河の閉鎖のような事件が、商品の製造と配送に前例のない困難をもたらしました。手元に十分な原材料が確保できないことから、多くの企業が納品義務を果たせなくなり、収益と顧客ロイヤリティの低下を余儀なくされました。この教訓を踏まえ、サプライチェーンマネージャーは、広く採用されている「ジャスト・イン・タイム」方式から「ジャスト・イン・ケース」方式への移行を実行しています。

このパラダイムシフトは、従来のやり方である、従業員が、限られたスペースで、大きな挑戦です。ジャスト・イン・ケース型を採用するには、何か必要なのでしょうか？ まず、ジャスト・イン・タイムとジャスト・イン・ケースの違いを理解する必要があります。

ジャスト・イン・タイム戦略では、生産スケジュールに合わせてサプライヤーに原材料が発注されます。必要なときにだけ品物を受け取ることで、効率を上げ、無駄を省きます。これにより、在庫コストの削減が可能になります。その例としてよく知られているのが、トヨタ生産方式、Motorolaのジョイントサイクル生産方式、IBMの連続フロー生産方式です。多くの場合、仕掛品の過剰生産を避けるためにカンパンスケジュールシステムが併用

されます。ジャスト・イン・タイム方式は、精度の高い需要予測、高品質な仕上がり、機械の故障がないこと、信頼できるサプライヤーによって実現可能となります。

●ジャスト・イン・ケース戦略とは？

ジャスト・イン・ケースは、ジャスト・イン・タイムの対局に位置しています。ジャスト・イン・タイムが無駄のない在庫・配送に重点を置いているのに対し、ジャスト・イン・ケースは必要以上の材料を備蓄したり、販売見込以上の製品を生産したりすることに重点を置いています。

●ジャスト・イン・ケース管理の導入方法

ジャスト・イン・タイムの在庫レベルを維持するという事は、特にパンデミックのような危機の際には、企業の在庫バッファがほとんど底をついてしまうことを意味します。一方、ジャスト・イン・ケースでは、より健全な在庫水準で運用することができるため、耐久力の確保が可能となります。

ジャスト・イン・ケース物流を採用する際に課題となるのは、商業用不動産が割高な地域において十分な保管スペースを確保することです。ここでは、ジャスト・イン・ケース物流を機能させるための5つの戦略をご紹介します。

●5つのジャスト・イン・ケース戦略

1.保管スペースを最大化 在庫が増えると、どうしてもさらに広い保管スペースが必要になります。最も簡単な解決策は、現在の倉庫の面積を増やすか、別の倉庫を取得することです。しかし、これらの最も簡単な解決策は、財務的理由から、常に実行可能であるとは限りません。そこで最良の選択肢となるのが、現在の倉庫ス

ペースを見直し、収納を最大化する方法を再検討することです。AutoStoreは、最高密度の回収およびキューブストレージソリューションの一つで、保管スペースを、一般的な手動ラック倉庫の設置面積に対し最大4倍まで拡張することが可能になります。

2.労働リスクを最小化

COVID-19のパンデミックピーク時には、職場でのウイルス蔓延を防ぐために行動制限が設けられました。倉庫内の商品をピッキングする作業員は、他との接触が禁止または最小限化されるように配所されました。AutoStoreはGTP (Goods to Person: 棚搬送型) システムであるため、作業員は、作業を行うポートで在庫が格納されたピンが搬送されてくるのを待ち、ピンから商品を取り出すだけです。ポートを等間隔に配置することで、作業員同士が安全な距離を確保できます。

3.ダウンタイムを削減

多くの場合、倉庫システムのダウンタイムは、下流工程、特に生産に影響を与えるため、常に懸念事項となります。AutoStoreシステムでは、独自の構造により、全てのロボットがシステム内のどのピンにも到達できるため、単一障害点が存在しません。49カ国以上で1,150以上のシステムの導入実績を持つAutoStoreは、倉庫および物流業界で比類のない99.7%の稼働率を誇る実証済みのテクノロジーです。

4.エネルギー消費を低減

エネルギーコストは一般的に、倉庫の運営予算の15%を占めていると言われています。倉庫に自動化を導入すると、光熱費が大幅に削減されます。そのため、企業はコスト削減と持続可能性のために、倉庫のエネルギー効率を高めることを強く望んでいます。AutoStoreのロボットは、稼働中の消費エネルギーがわずか100ワットです。10台のロボットの消費エネルギー

は、掃除機1台分と同等です。営業時間外に照明や空調の使用を制限してシステムを稼働させることも可能です。エネルギー消費量が少ないため、太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用してシステムを稼働させることもできます。

5.将来的なリスクに対応するオペレーションの確立

拡張性と柔軟性のある倉庫自動化の実現は、現在進行中のIndustry4.0の重要なトレンドです。競争力を維持するために、現代の企業は、現在のオペレーションを改善し、需要の変化に応じて容易に拡張または縮小できるテクノロジーに投資する必要があります。AutoStoreでは、自動化のレベルを常に調整できます。例えば、保管スペースを追加が必要となった場合、ピンを追加できます。スルーポートを向上させるために、ロボットを追加することも可能です。その可能性は無敵大です。AutoStoreは、あらゆる主要産業の現在と未来のビジネス課題に対応できるように設計されたモジュールソリューションなのです。

●まとめ

近年のグローバルトレンドに対応するため、多くの企業では、ジャスト・イン・タイムモデルからジャスト・イン・ケースモデルへの移行を余儀なくされています。ジャスト・イン・ケース型のサプライチェーンモデルへ移行するにあたり、企業は保管スペースの最大化、労働リスクの最小化、ダウンタイムの削減、エネルギー消費の低減、そしてオペレーションの将来への対応を実現するための戦略を実施する必要があります。AutoStoreシステムは、企業がこれらの課題を解決し、競争力の維持に貢献する柔軟な倉庫自動化の一例です。拡張性のあるテクノロジーに投資することで、企業は将来起こりうる混乱に備えて、回復力と持続可能性を確保しておくことができます。

<https://ja.autostoresystem.com/>

工場をいろんな無線でつなぎます

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

ECU-1051(LTE/Wi-Fi)
ECU-150(LTE/Wi-Fi)
ECU-1252(LTE/Wi-Fi/CAN)
エッジゲートウェイ



WISE-4220(Wi-Fi 2.4G)
WISE-4210(SUB-G)
WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)

WISE-2210(SUB-G)
WISE-2211(SUB-G)
WISE-2200-M(LoRaWAN)
CT給電対応/アナログ入力

WISE-4610 (LoRaWAN)
WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX (Wi-Fi 2.4G)

WISE-S100
タワーライトセンサ後付け

WISE-2410(LoRaWAN)
WISE-2410X(LoRaWAN)
振動センサ電池駆動型

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社
<https://www.advantech.com/ja-jp/>



[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草6-16-3

TEL : 03-6802-1021 FAX : 03-6802-1022

[大阪支店] TEL : 06-6267-1887 FAX : 06-6267-1886

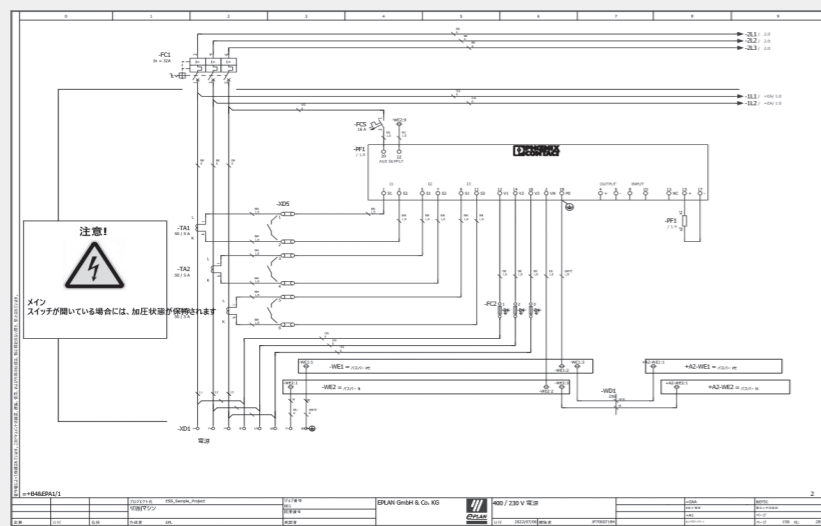
[名古屋支店] TEL : 052-291-4860 FAX : 052-291-4861

EPLAN
efficient engineering.



設計から製造まで データがつながる 電気設計CAD EPLAN

総合電気設計CAD
Electric P8



3Dレイアウト設計
Pro Panel



部品データポータルサイト
Data Portal



製品デモセミナー開催中
詳しくはEPLAN公式ブログサイト

EPLAN 株式会社

🔍 EPLAN Japan公式ブログ

お問い合わせ : 045-274-7904

サイト : www.eplanjapan.jp

所在地 : 横浜市港北区新横浜2-5-11金子第1ビル7階



工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→https://www.automation-news.jp/category/factory/

国内

■ナビエース、群馬県邑楽郡板倉町に段ボール包装の新工場

ナビエースは、関東圏の顧客に向けた供給能力向上のため、群馬県邑楽郡板倉町に建設中だった新工場(群馬県邑楽郡板倉町泉野二丁目41番23)が竣工した。



新工場は、コルゲーター1台、強化段ボールナビエースとナビパレット製造設備等を備え、本社同等の生産能力を持つ。敷地面積は3万3189平方メートル。

■ミラプロ、岩手県奥州市に半導体製造装置用部品製造のミラプロ東北工場を新設

ミラプロは、岩手県奥州市の江刺フロンティアパーク内に「ミラプロ東北工場」を新設した。半導体市場の需要が拡大に伴って半導体生産能力強化のため半導体製造装置の生産も急務とされ、真空関連部品の迅速で安定的な供給が求められている。同社は、半導体液晶向け配管製造・精密洗浄、各種半導体製造装置の組み立てを事業としており、今回の新工場は半導体需要の増加に対応するものとなる。新工場は2階建(一部3階建)で、敷地面積は1万5330平方メートル、延べ床面積は1万7494平方メートル。



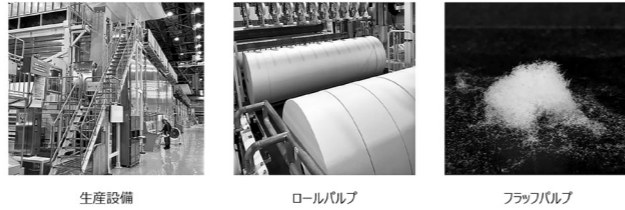
■大玉製紙、愛媛県四国中央市の三島工場でフラッフパルプの生産を開始

大玉製紙は、紙おむつ等吸収体商品の主要材料のひとつで、ロールパルプを解繊した綿状パルプであるフラッフパルプの生産を開始した。新たに稼働を開始した生産設備は、これまで三島工場(愛媛県四国中央市)で洋紙を生産していた15号抄紙機を改造したもので、生産能力は月産7500トン。

Advertisement for Fukunishi, featuring a logo and text about their products and services.

業からホーム&パーソナルケア事業へウエイトシフトする方針を掲げ、ホーム&パーソナルケア事業の強化を進めている。紙おむつのリサイクル事業の研究も開始しており、今回のフラッフパルプの内製化によって再生パルプを混ぜ合わせたフラッフパルプを自社の紙

おむつに使用することで紙おむつの水平リサイクルローの完成を目指す。設備投資額は約60億円。



■日本金属、東京都板橋区の板橋工場の排水回収設備が稼働

日本金属は、東京都の工業用水道事業廃止に伴う「節水対策支援」を活用した板橋工場での排水回収設備の新設について、このほど工場が完了し稼働を開始した。

板橋工場では冷間圧延ステンレス鋼帯、みかき特殊鋼帯、極薄電磁鋼帯、マグネシウム合金帯等を製造しており、今回の新設工事は水素プラント跡地を有効利用し、既存水処理設備の改善を進めた後、排水回収設備を新設し、工場の稼働に影響を与えずに竣工することができた。今回の排水回収設備導入によって約60%の排水回収率向上を想定している。

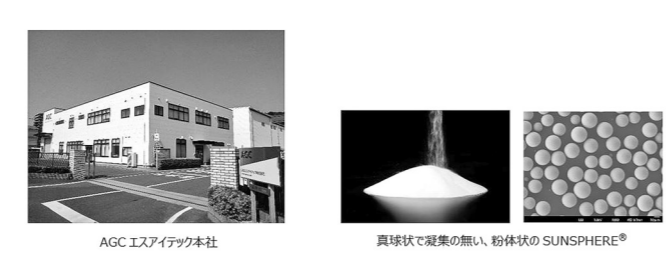


■三益半導体工業、群馬県高崎市保渡田町に300mmシリコンウエハー新工場を建設

三益半導体工業は、群馬県高崎市保渡田町に300mmシリコンウエハーを製造する新工場を建設する。投資金額は770億円で、現工場の隣接地に300mmシリコンウエハー製造用建屋を建設する。建築面積は1万1283平方メートル。2023年8月に着工し、2025年7月の竣工の予定。

■AGCエスアイテック、福岡県北九州市の若松工場で化粧品原料のシリカ製品の生産力増強

AGCの100%子会社のAGCエスアイテックは、天然由来の素材を使用した環境に優しい化粧品原料であるシリカ製品「RESIFA(レシファ) SUNSPHERE(サンスフェア)」について、福岡県北九州市の若松工場で現行の約1.5倍に生産能力を拡張する設備増強を実施し、2025年第2四半期に稼働を開始する。



同製品は、天然由来のケイ素を独自の製法で真球状に加工した化粧品原料で、世界中の化粧品メーカーで使用されている。化粧品市場は人口増加とスキンケア意識の高まりで年率4%以上の成長が見込まれ、またマイクロプラスチック代替の化粧品原料が望まれており、今回の生産能力増強はこれを受けてのものとなる。

海外

■第一稀元素化学工業、ベトナムでオキシ塩化ジルコニウム製造の新工場が稼働開始

第一稀元素化学工業のベトナム子会社のVIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL JOINT STOCK COMPANYが、オキシ塩化ジルコニウムとその他ジルコニウム化合物の生産能力増強と事業拡大を目的としてハリアブンタオ省に建設を進めてきた新工場が稼働を開始した。高機能材料のジルコニウム化合物は、主にジルコニウム鉱石の粗精製塩であるオキシ塩化ジルコニウムを用いて製造され、そのサプライヤのほぼ全てが中国に集中している。それに対し同社は、オキシ塩化ジルコニウムの供給を特定国に頼るリスクに対応するためにベトナム子会社を設立し、サプライチェーンの多様化を進めてきた。



新工場では、ベトナムで産出されるジルコニウム鉱石を主原料とし、バイオマス由来の熱源を採用するなど環境に配慮したプロセスと設備によって社内で使用するオキシ塩化ジルコニウムの約50%と、その他ジルコニウム化合物を製造する。

■イーレックス、ベトナムに発電用燃料向け木質ペレット製造工場

再生可能エネルギーのイーレックスは、ベトナムイエンバイ省に木質ペレット工場「イーレックス・サクラ・バイオマス・イエンバイ工場」を建設する。2024年9月の完成を予定。

同プロジェクトは、ベトナムにバイオマス発電所を新設するのに先立ち、未利用となっている木質残渣等を木質ペレットに加工し、主に発電用燃料として活用、販売する事を目的として木質ペレット製造工場を整備するもの。約3haの敷地に加工工場と原木ヤード、管理事務所を建設し、年間15万トンの木質ペレットを製造能力を持つ。製造した木質ペレットは、石炭火力発電所から排出されるCO2の削減を目的として石炭火力発電所(フェューエルコンバージョン)への活用も検討している。



■ヤクルト、アメリカ・ジョージア州に新工場を建設

ヤクルトの100%子会社のアメリカヤクルトは、アメリカ・ジョージア州パートウ郡のハイランド75工業団地に新工場を建設する。アメリカヤクルトは2022年に1日あたり平均63万2000本の販売実績があり、米国での需要が増加している。

■太陽誘電、中国・常州に積層セラミックコンデンサの新工場が完成

太陽誘電の中国子会社で積層セラミックコンデンサの生産を担当する太陽誘電(常州)電子の新工場が完成した。同社は、積層セラミックコンデンサの生産子会社として2019年の設立から生産立ち上げの準備を進めてきて、このほど新工場が完成。各種設備の効率化による省エネや創エネなどを通じて温室効果ガス削減し、

環境にも配慮した最先端の工場になる。延床面積は約8万平方メートル。建築面積は約2万8500平方メートル。投資金額は約180億円(建屋のみ)。

■日野自動車、タイでトラック・バスの生産拠点「日野スワンナプームものづくりセンター」開所

日野自動車のタイ生産子会社である日野モータース マニュファクチャリングタイランドは、ASEANにおけるトラック・バスの生産・開発拠点となる「日野スワンナプームものづくりセンター」を開設した。



同センターは、タイ日野製造、タイ日野パワートレイン製造、日野モータースアジアの協力で生まれ、ASEANでのトラック・バスの生産・開発拠点としてタイ国内の商品企画・開発・生産の機能を集約・強化し、ASEAN最適車の現地での商品化・生産供給を担う。

スワンナプーム国際空港から約20キロメートルのサムットプラカーン県バンボー郡アジア工業団地に位置し、敷地面積は40万平方メートル。総事業費は35億6000万バート。

■村田製作所、フィリピンの生産子会社で積層セラミックコンデンサの新生産棟を建設

村田製作所のフィリピン生産子会社のPhilippine Manufacturing Co. of Murata, Inc.は、新生産棟の建設を開始した。

今回の新生産棟の建設は、積層セラミックコンデンサの中長期的な需要増加に対応できる体制の構築を目的としている。総投資額は約112億円(建屋のみ)。建屋はRC造の地上2階建て、延床面積は7万7981平方メートル、建築面積は3万2454平方メートル。2025年9月末竣工の予定。



■フェローテック、マレーシアに半導体用絶縁放熱基板製造の新工場建設

フェローテックホールディングスのパワー半導体用絶縁放熱基板製造子会社の江蘇富榮華半導体科技股份は、マレーシア南部地区の柔佛州新山地区に新工場を建設する。

同社は中国国内の上海、東台、四川と生産拠点を着々と増やしており、今回マレーシア南部地区に新たに生産拠点を設置し、パワー半導体需要の取り込みに注力する。また新工場は、既存工場を買収した上で内装と改造を行うことで立ち上げのスピードアップと投資金額の抑制を図る。生産能力はDCB基板がひと月当たり30万枚、AMB基板が20万枚。

投資金額は約137億円。このうち建屋が52億円、機械設備が61億円、その他で24億円。建屋総床面積は約3万4000平方メートル。建屋の改造は2023年9月に開始し、2024年5月に機械設備設置を開始し、操業開始は2024年9月を予定している。

Advertisement for Just Products, featuring a logo and text about their products and services.



世界の製造業が採用 IPC 品質標準規格

はんだ付工程を 見える化する



グローバルに通用する製品品質を備え、世界各地での躍の第一歩に――



ジャパンユニックスでは IPC の標準規格書・情報・サービスを提供しています

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』でははんだ付のIoT化へ
●3D ソルダリングの実現
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



IPC 標準規格書 無料版 まずは web からダウンロード 『IPC』『規格』『無料』で 検索

ジャパンユニックス製品 導入事例集 web にて公開 『はんだ付 導入事例』で 検索